

(別紙1)

管理運営状況 評価シート【令和5年度】

(評価日 令和6年6月26日)

1 施設の概要

施設名	岩手県立県南青少年の家
所在地 電話・FAX HP・電子メール	岩手県胆沢郡金ヶ崎町永沢下館 49-1 電話 0197-44-2124 FAX 0197-44-2126 ホームページ https://iwate-sposhin.jp/kennan/ 電子メール kenritukennan@echna.ne.jp
設置根拠	青少年の家条例
設置目的	(設置：昭和56年3月27日) 次代の担い手である青少年に、恵まれた自然環境のなかで、規律ある共同宿泊生活を体験させ、友情、協同、奉仕等の相互扶助の精神を養い、地域社会の発展に寄与しうる自主的で創造性豊かな青少年の育成を図る。
施設概要	【敷地面積】98,785.21㎡ 【建物面積】4,837.78㎡ 【主な施設】○管理・研修棟 ○体育館 ○宿泊棟 ○キャビン ○付帯施設 ○研修機材等 ○駐車場
施設所管課	岩手県教育委員会事務局 生涯学習文化財課 (電話 019-629-6171、メールアドレス DB0005@pref.iwate.jp)

2 指定管理者

指定管理者名	公益財団法人岩手県スポーツ振興事業団
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日(5年間)
連絡先	盛岡市みたけ1丁目10番1号 電話 019-641-1127

3 指定管理者が行う業務等

業務内容(主なもの)	1 施設等の供用に関すること。 2 施設等の維持管理に関すること。 3 施設の利用促進及び指導に関すること。		
職員配置、管理体制	4名 (令和5年4月1日現在) (内訳) 正職員 1名 地域職員 3名	組織図 <pre>graph LR ED[教育部門] <--> 連絡調整 BO[事業団事務局] ED <--> 協働 GM[総括責任者(1人)] GM -- 指揮 --> GMAS[総括責任者補助者(1人)] GM -- 命令 --> GMAS BO -- 指導監督 履行確認 --> CBO[委託業務受託会社] CBO -- 業務報告 --> GM GMAS --- SG[警備員(2名)]</pre>	
利用料金	徴収していない		
開館時間	勤務時間 8時30分～17時15分 ※利用団体がある場合は、24時間	休館日	毎週月曜日(ただし、臨時開所することがある。)、12月28日～1月4日、その他所長が定める臨時の休所日

4 施設の利用状況

(単位：人)

(利用者数、稼働率等)	前期間平均	指定管理期間						備考
		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	期間平均	
第1四半期	8,982	5,758	7,209	7,066			6,678	
第2四半期	9,466	4,141	6,852	8,118			6,370	
第3四半期	5,782	5,135	4,224	6,491			5,283	
第4四半期	3,193	2,691	2,940	4,985			3,539	
年間計(実績)	27,423	17,725	21,225	26,660			21,870	
年間計(計画)		26,800	26,854	26,908	26,962	27,016		

5 収支の状況

(単位：千円)

区分	前期間平均	指定管理期間						備考
		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	期間平均	
収入	利用料金収入	0	0	0	0		0	
	指定管理料	34,335	36,801	38,096	39,038		37,978	
	自主事業収入	347	515	432	696		548	
	小計	34,682	37,316	38,528	39,734		38,526	
支出	人件費	7,105	10,883	11,318	12,576		11,593	
	維持管理費	26,276	26,802	28,382	29,060		28,081	
	事業費	0	0	0	0		0	
	自主事業費	376	457	389	675		507	
	小計	33,757	38,142	40,089	42,311		40,181	
収支差額	925	△ 826	△1,561	△2,577		△1,655		

6 利用者の意見等への対応状況

(1) 利用者意見(満足度等)の把握方法

把握方法	利用団体毎に利用評価票を提出いただいている。 利用者総合アンケートを実施している。	実施主体	県南青少年の家
------	--	------	---------

(2) 利用者からの苦情・要望

受付件数	苦情 0件、要望 31件、その他 0件		
主な苦情、要望等	対応状況		
ゴミ捨て時のゴミ袋の扱いが理解不足だったため施設に迷惑かけた。捨て方の説明を強調してもらいたい。補充用ゴミ袋はシート置き場にしてほしい。	ゴミの捨て方についてオリエンテーションの場で協調して説明する。清掃時に各部屋のゴミ袋が無くなることはないので補充用ゴミ袋は従来通り事務室前で提供する。		
食堂のおひつは密にならないよう少しスペースを広げてもらいたい。	食堂に伝え改善した。		
玄関のうえにある時計を合わせて欲しい。	放送室内にある一括操作盤に不具合があり修繕した。		
キャンプファイヤー時、野外トイレが閉まっていた困った。	以後十分に注意し確実に対応する。		

食器の返し方が難しかった。動画があると良い。	動画とDVDを作成し、ホームページ上で確認できるよう改善した。
小学校や児童館でも熱中症対策でエアコンがあるので、活動しにくい環境です。暑さでせっかくの良い活動や学びが損なわれるのが残念です。(同要望 2件)	連日の真夏日や熱帯夜のなか利用者には不便をかけており、設置については引続き岩手県へ要望している。 宿泊室や研修室は扇風機やサーキュレーターを活用していただくほか手段は無く、緊急の暑さ対策として食堂業務に影響を及ぼさない範囲で、食堂を利用者に開放した。
今年の夏のような暑さではエアコンが必要。岩手山青少年交流の家には冷房があるのに、県南に無いのが残念でした。暑さ的に熱中症のリスクが高いことが気になります。(同要望 2件)	
エアコンがあると良い。(同要望 8件)	
キャンプファイヤー用の薪が湿っていて途中で消えた。	薪の保管場所を変更することができないため、雨天の翌日利用の場合はできるだけ乾いている薪を利用いただき、灯油を多めに配布するなど対応した。
各団体が使える冷蔵庫が和室または談話室などにあると良い。	今後の施設備品整備の参考とする。
オリエンテーリング中、車道の車のスピードに驚いた。注意看板があればいいと思いました。	オリエンテーリングを行う児童に道路を横断することや指導者に安全確保のため、危険な場所には立会するよう指導した。
多目的グラウンドが芝生だったらすごく嬉しい。	今後の施設備品整備の参考とする。
布団の畳み方について「ピンクの面が出るように畳む」という案内があると助かる。	ピンクの面が外側になるよう次年度用のオリエンテーション動画で畳み方を紹介する。
<p>その他利用者からの積極的な評価等</p> <ul style="list-style-type: none"> 急な変更にも親切丁寧にに対応してくださり誠にありがとうございます。安心して過ごすことができました。 子供達に分かりやすく話していただきたり、優しい声掛けをしていただき嬉しかったです。沢山褒めてくださりありがとうございます。 子供達もしっかりと話を聞くような対応で勉強になりました。 いろいろな疑問やお願いにも快く応答していただきました。 	

7 業務点検・評価 (※)

(1) 業務の履行状況

項目	事業計画、県が求める水準	実績 (指定管理者の自己評価)	評価指標
管理業務等	1) 公の施設としての公共性を有することを十分に理解し、その趣旨を尊重した管理業務等の実施	県民の施設であることを念頭に、いつでも、誰でも、気軽に、そして公平な利用の確保を図るため、業務内容についての情報公開を適切に行った。また、施設管理部門と教育部門との密接な連携・協働を図るため、所内で十分に協議・協力して管理運営を行った。	B
	2) 県民の平等な利用の確保	できるだけ多くの団体に利用いただけるよう、一般企業等の利用も含め利用形態に対応した受け入れを行った。	
	3) 設置目的を効率的かつ効果的に達成	利用者のニーズを勘案し、年間9回の臨時開所を行った。宿泊団体の無い日の体育館の夜間利用は、年間209回行った。	

施設の利用 状況	1) 目標値の達成 管理運営計画書に 掲げる年間利用者数 26,908人	年間利用者数 26,660人 対目標値 △ 248人	B
	2) 上記目標値に向け た取組みと、増減内 容の把握	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者増加に向けた取組みとして未就学児を対象とした活動プログラム「森の探検ごっこ」のアクティビティを4つに増やし、雨天時でも活動できるプログラムにより幼稚園・保育園等の利用拡大を図った。 ・4.5月に県内4大学及び放課後児童クラブ等へ直接訪問し、放課後児童クラブや親子レク等への出前講座が大幅に増加した。大学・専門学校からは次年度の申込みをいただくなど、広報活動に努めた。 ・地域のグラウンド・ゴルフ愛好者へ整備したグラウンド・ゴルフコースを利用いただくとともに、交通手段が無い高齢者に出前講座をPRし、利用促進を図った。 ・増減については、昨年度比5,435人増の26,660人となり、計画数値(26,908人)に対して99%という結果となった。新型コロナウイルスが5類移行に伴い、利用制限が緩和されたことで利用が増加した。 	
	3) 施設利用促進に係 る広報等の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校、教育事務所その他団体に要覧・所報の配布を行うとともに、幼稚園、児童館、高校、企業や社会教育担当者などターゲットを絞ったチラシを作成し配布を行った。 ・大学や放課後児童クラブに直接訪問し利用促進活動を図った。 ・マスコミ各社へ主催・自主事業等の開催案内及び取材依頼を行い新聞に掲載いただくなどPRに努めた。 ・ホームページ等を活用し、施設の利用方法や空き状況などを利用者に分かりやすく、リアルタイムな情報提供に努め利便性の高い内容になるよう工夫した。 ・新たにInstagramを開設し、主催事業の案内や終了事業の写真等を効果的に掲載し広報活動を行った。 	
会計業務の 状況	適正な会計業務(収 入・支出・契約等)の 執行	<ul style="list-style-type: none"> ・事業団会計処理規定に基づき、契約については県会計規則に準じて執行した。 ・事業団会計処理規程に基づき、関係法令等に照らし処理した。また、事業団本部との連携を密にし、関係書類は複数職員で確認するチェック体制を整え処理した。 	B
施設の維持 管理状況	1) 施設設備の維持管 理等業務の適切な実 施	<ul style="list-style-type: none"> ・職員による日常管理に加え、委託業者による施設設備の保守委託等により良好な状態を維持するよう努めた。 ・処置が必要な箇所については、速やかに職員または業者による補修・修繕を行った。 	B
	2) 公有財産の適切な 管理	<ul style="list-style-type: none"> ・日常点検及び安全点検を実施し、異常ある場合はその都度、安全及び利用の可否を判断するなど適切な管理に努め、所内会議において職員間で情報共有を図った。 ・損傷箇所を発見した際には、安全性と機能性を回復するため、速やかに対応することを基本にして、職員で修理できるものは修繕材料を調達し、困難なものは業者に発注し修理した(施設修繕1件、設備・備品等修繕29件)。 ・老朽化等使用不能の備品は廃棄処分等の整理を進めた。 	
	3) 備品について備品 台帳との整合性を図 る	<ul style="list-style-type: none"> ・11月に一斉点検を行い、備品台帳と照合したほか、体育用備品については破損等の有無を点検し適切な管理に努めた。 	
記録等の整 理・保管	各種帳票書類の適正 な整理保管	<ul style="list-style-type: none"> ・事業団規定に基づき、類型・年度毎に保管管理した。 	B

自主事業等の取組み	施設の設置目的に沿った、利用促進に繋がる方策に基づく事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・自主事業は予定された全12事業を実施した。「ふれあいフェスティバル」はR4年度は全プログラムの参加者を事前申込制で実施していたが、今年度は川遊び体験以外は自由参加で実施した。また、町内の保育園や障がい者支援施設の方に協力いただいたこともあり、過去最高の参加者(482名 前年比4.2倍)に利用いただいた。 ・実施にあたっては、細部まで内容を詰めていくことを常例とし、所外で行う事業にあっては実地調査を行うなどきめ細かなプログラムを提供するよう努めた。 ・地域との連携は、子供会等の出前事業への積極対応や、グランドゴルフ場を活用した地域高齢者の利用促進を進めた。 ・ホームページやインスタグラムを活用し、リアルタイムで情報提供に努めるとともに、利用者の問い合わせ等を想定した利便性の高い内容になるよう工夫して情報発信に努めた。 	B
(施設所管課評価) ・成果のあった点 ・改善を要する点	<p>○成果のあった点</p> <p>未就学児対象の活動プログラムの充実により幼稚園・保育園等の利用拡大を図ったほか、放課後児童クラブ等への直接訪問の取組みにより出前講座が大幅に増加し、学校・スポ少単位以外への利用促進につながった。(R5:26,660人、R4年度比:5,435人増、目標対比:99.1%)</p> <p>自主事業については、予定した12事業すべてを実施することができ、「ふれあいフェスティバル」は実施形態の見直しや関係機関への呼びかけにより参加者数は過去最高の482人となった(前年比:4.2倍)。</p> <p>○改善を要する点</p> <p>特になし。</p>	B	

(2) 運営体制等

項目	事業計画、県が求める水準	実績(指定管理者の自己評価)	評価指標
職員の配置体制	各業務に適した職員及び必要な有資格者の適正な配置	・管理計画書のとおり防火管理者等の適正配置を行っている。	B
苦情、要望対応体制	利用に関する各種問い合わせや要望及びトラブル等の適切な対応	<ul style="list-style-type: none"> ・寄せられた提言に対しては、利用者等の立場で適切かつ迅速に対応し、その結果を最大限取り入れた業務改善を継続することにより、利用者等の信頼と満足度の向上を図るよう努めた。 ・利用評価票における意見・要望等は職員間で共有を図り速やかに改善するよう対応に努めた。 	B
危機管理体制(事故、緊急時の対応)	災害時・緊急時の対応や、防犯・防災対策として、マニュアルの作成や訓練の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・事業団危機管理対応要綱及び危機管理要領に沿って作成した「非常時対応マニュアル」を随時補正し、有事の対応に万全を期した。 ・自衛消防訓練及び消火訓練など年3回実施した。 	B
コンプライアンスの取組み、個人情報の取扱い	基本協定に基づく秘密の保持、個人情報保護及び法令遵守の確保 個人情報に関する書類の適切な保管管理	<ul style="list-style-type: none"> ・年度初めに「コンプライアンスマニュアル」の再確認をするとともに、毎月職員がコンプライアンスに関する自己取組みを発表し、意識の高揚に努めた。 ・コンプライアンスマニュアルに従い、年度初めに「個人情報保護」の職員研修会を実施し、個人情報が記載された書類等はキャビネット等で管理するとともに、廃棄する場合は、シュレッダー破砕等により外部に流出しないよう管理を行った。 	B
県、関係機関等との連携体制	基本協定に基づく関係機関等との協力連携及び良好な関係の維持	<ul style="list-style-type: none"> ・協定書に基づく諸報告等については、期限を遵守するとともに、事業団本部と連携を密にし、適正に処理を行った。 ・県による会計実地検査及び事業団内部事務調査における指導事項は無かった。 	B

(施設所管課評価) ・成果のあった点 ・改善を要する点	○成果のあった点 概ね適正に運営されていると認められる。 ○改善を要する点 特になし。	B
-----------------------------------	--	---

(3) サービスの質

項目	事業計画、県が求める水準	実績（指定管理者の自己評価）	評価指標
サービス向上の取組み	サービス向上のための研修等の実施	・県及び事業団が主催する研修会に積極的に参加した。 ・接遇研修を受講後、所員に伝達講習を行い、サービス向上を徹底した。	B
利用者サービス	利用者サービス向上に向けた方策に基づく、適切な利用者サービスの実施 1) 利用者の要望に応じた施設開所 2) 利用者の意見を反映させた青少年育成事業の実施 3) 青少年育成の場として適正な施設環境及び設備機能の維持（衛生環境保持、安全点検、修繕等） 4) 障がい者等特別な配慮が必要な利用者に対する柔軟な対応、施設設備の整備	・利用者のニーズに合わせて、休所日である月曜日を9回、臨時開所するとともに、宿泊団体の利用がないときの夜間の体育館を209回開放するなど、利用者の便宜を図った。 ・利用者の意見を反映した事業内容を検討し、開所時間や開所日の弾力的な運用等を実施した。 ・適正な施設環境及び設備機能の維持のため、必要に応じ専門業者へ維持保全に関する業務委託を行った。また、定期的な安全点検の実施、速やかな修繕対応に努めた。 ・主催事業に障がい者の方に参加いただいたことで、身障者トイレ等の課題を把握し、改善について県へ予算要求を行った。	B
利用者アンケート等	1) 利用者アンケートや意見箱の設置による利用者ニーズの把握 2) アンケート結果に基づく業務改善	・利用者には団体利用の都度、利用評価票の提出をお願いし、多様化する利用者ニーズの把握を行った。 ・事業団共通アンケートの集計、分析を行い、「施設」・「職員」・「満足度」の評価結果を職員で共有するとともにホームページに掲載するなど、施設運営や事業計画に反映させ、サービスの向上を図った。また、エアコン設置など大規模改修については県へ要望した。	B
(施設所管課評価) ・成果のあった点 ・改善を要する点	○成果のあった点 休所日の臨時開所（9日）や体育館の夜間開放（209回）を行うなど、利用者のニーズに合わせた運営を行っているほか、利用者アンケートの実施結果を職員で共有し、施設運営に活かしている。 ○改善を要する点 特になし。		B

(4) サービス提供の安定性、継続性

項目	事業計画、県が求める水準	実績（指定管理者の自己評価）	評価指標
事業収支	管理運営計画における収支の積算に対する適正な収支実績	・会計諸帳票は、公益法人会計基準に定められたとおり作成しており、運営計画との整合性が図られている。 ・収支実績は、限られた予算の中で計画的に予算執行を行い施設運営ができた。	B

指定管理者の経営状況	経営基盤の安定及び計画に沿った管理能力	<ul style="list-style-type: none"> ・公益法人としての活動について、毎年、公益認定委員会の評価を受けている。 ・当事業団は、昭和60年の設立以来、借入金及び貸付金等はない。 ・業務を適正に成し得るだけの有資格者、経験者を有しているほか、職員の資質向上にも努めており、十分な管理能力を保持していると考えられる。 ・経費縮減等の努力を継続して行っている 	B
(施設所管課評価) ・成果のあった点 ・改善を要する点	<ul style="list-style-type: none"> ○成果のあった点 概ね適正に運営されていると認められる。 ○改善を要する点 特になし。 		B

※(注1) 県記載欄：「事業計画・県が求める水準」、「評価指標」「施設所管課評価」

指定管理者記載欄：「実績（自己評価）」

(注2) 評価指標

- A：協定書、提案書等の内容について高レベルで実施され、また、計画を上回る実績（効果）があり、優れた管理がなされている。
- B：概ね協定書、提案書等の内容どおり実施され、計画どおりの実績（効果）があり、適切な管理が行われている。
- C：一部、改善・工夫を要する事項が見られたが、改善済み、または改善される見込みである。
- D：協定書等の内容に対し、不適切な事項が認められ、改善を要する。

8 指定開始年度から評価年度までの総合評価

(1) 指定管理者の自己評価

<p>① 成果があった取組み、積極的に取り組んだ事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の幼稚園と連携し開発した幼児対象活動プログラム「森の探検ごっこ」を、更に雨天時の館内プログラムなどアクティビティを4つに増やし、幼児の自然体験の幅を広げ未就学児の利用促進を図った。 ・ 金ケ崎町グラウンド・ゴルフ協会と連携し、R4年度から春と秋に協会主催の交流会の開催と、事業団理事長杯グラウンド・ゴルフ大会へ参加し、高齢者の利用促進が図れた。 ・ 大人を対象とした事業を近隣の市町広報誌に掲載を依頼し、広く地域住民の方に周知を図り参加者の増に繋ぐことができた。 ・ 「ふれあいフェスティバル」は川遊び体験以外を自由参加とし、新聞や市町広報の活用、金ケ崎町及び奥州市の小学校にチラシを配布するなど、過去最高の参加者に利用いただいた。 ・ 年間9回の臨時開所により、利用者の利便性を図った。 ・ 夜間の体育館を開放し、近隣のスポーツチームやスポーツ少年団の活動場所を提供するなど、利用回数は209回であった。 ・ 近隣スケート場閉鎖に伴い金ケ崎町内小学校の冬期活動場所が無くなり冬の運動ニーズに応えるため、クロスカントリースキーの用具と受入態勢を整備した。 ・ 夜間の体育館利用で概ね週を通して利用する場合は、「施設使用許可申請書」一枚に利用期間の始期と終期を記載し、備考欄に各日の内訳を記載することで申請書作成枚数を削減し、利用者の負担軽減を図った。また、備考欄に「減免申請希望 有・無」の記入項目を設け申請者の意思確認を書面で行うことで、減免手続きを適正に処理した。 ・ 毎年度発行している「要覧」と「所報」を見直し、内容や構成をコンパクトにまとめ、合併したものを発行し経費の圧縮を図った。 ・ 宿泊利用者への入所オリエンテーションを、これまでの指導員による説明を動画DVDを作成し見ていただくことで、利用者がより分かり易いよう工夫し、改善を図った。 ・ 花壇や玄関脇プランターに夏花を植え、景観環境にも配慮して利用団体を迎えた。 ・ 委託業者と「給食会議」を開催し、利用者ニーズに対応した食事の提供等により好評を得た。
<p>② 現在、苦慮している事項、今後、改善・工夫したい事項、積極的に取り組みたい事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 施設の老朽化による破損が多発しており、予算的な制約もあり職員が応急対応することも多い。職員の負担も大きく、原因が解消されない限り根本的な解決とはならない。築43年を迎える施設群のため、設備の不具合が複数同時に発生しており、優先順位の判断も難しくなっている。 ・ インスタグラムを活用し当所の施設の紹介や年間行事と提供プログラムの紹介等、魅力ある事業の情報の

提供を行い、利用者が気軽に参加できる場の提供を今後も継続していく。

- ・ 隣接するスケート場の閉鎖に伴い、クロスカントリースキー用具を整備し金ケ崎町内小学校の冬の活動場所としてのニーズに応えるとともに、閑散期の利用促進に努める。
- ・ 宿泊利用者がいない夜間の体育館の開放などに今後も努める。

③ 県に対する要望、意見等

- ・ 施設設備の老朽化が進んでいることから、施設の長寿命化計画（長期修繕計画）の策定を要望する。施設設備の最適化時期が明示された当該計画を共有することで、研修活動プログラムの改良や新規開発等のソフト面の充実及び利用者からの苦情対応においても具体的で丁寧な説明が可能になるものとする。
- ・ 未だ未着工の県営修繕工事（①案内標識補修工事、②野外施設修繕工事）について、早期の着工を要望する。
- ・ 建物関係は、体育館屋根の雨漏りが全面的に発生している。施設は「大規模災害時における指定避難所としての使用に関する覚書」を金ケ崎町と岩手県において取り交しており、避難所として機能するためにも早急な改修が望まれる。
- ・ 近年の酷暑により利用者及び職員の健康管理上大きな不安を抱えている。施設内の冷房設備は食堂・医務室のみのため、体調不良者の休養や執務の効率化のため、宿泊棟和室、当直室及び事務室等のエアコン設置をお願いしたい。
- ・ 宿泊棟や浴室の電力容量（20A）の不足が原因で、朝の一斉清掃やドライヤー使用時に電力遮断があり利用者に不便を強いている。また、エアコンや Wi-Fi 環境の整備も利用者から多くの要望があることから、これらを整備することで、各種学校や企業の利用促進に繋げたい。
- ・ キャンプ場及び多目的グラウンドの水はけが悪く降雨後数日間は野営希望団体のテント設営の場所に苦慮している。グラウンドコンディションが悪く利用団体に不便をかけている状況にあるため、暗渠排水等改修が望まれる。
- ・ 再委託を行っている清掃業務等の委託料について、近年の物価・人件費の急激な高騰により、入札が成立しなくなっていることから、指定管理料の増額を要望する。（R5実績 15件 11,933,216円、R6見積 15件 16,257,116円 差額 4,323,900円）

(2) 県による評価等

① 指定管理者の運営状況について

施設の臨時開所や、利用者層の拡大につながる事業の実施及び広報活動を適切に行っており、施設利用者からも一定の評価を得ている。

② 県の対応状況について（自己評価）

毎月の定期報告により施設の管理状況・利用状況を把握するとともに、施設・設備の老朽化が進んでいることから、指定管理者との連携により修繕状況の把握に努めた。

③ 次期指定管理者選定時における検討課題等

管理料積算にあたり、人件費や物価の変動等を適切に反映するよう検討する。

9 改善状況等

改善を要すると評価された項目（C、D評価の項目について）

該当なし

改善状況

（指定管理者から県への報告年月日：令和 年 月 日）

改善状況の確認

（確認年月日 令和 年 月 日）